

## 2015年7月実績概要（メモ）

（2015. 8. 20）

定修が一段落したこともあり、生産は大多数の品目で大幅な増加。

### 1. 生産動向

イ) エチレン 559, 200トン

前月比 +12.4% (+61,700トン)

前年同月比 +1.0% (+5,800トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+3.3%	-
定修要因等	+7.8%	+3.2%
能力増減	+1.1%	▲5.3%
稼働率変動	+0.2%	+3.1%
生産増減率	+12.4%	+1.0%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.4%→当月93.6%←前年同月91.0%

定修プラント：前月1社1プラント → 当月なし ←前年同月1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数の増加と定修規模差等から LD、HD、PP、PS、塩ビ樹脂、EO、EG、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの16品目がプラス。BRのみがマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から HD、PP、PS、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、ベンゼン、キシレンなどの11品目がプラス。LD、SM、MMAモノマー、ANなどの6品目がマイナスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数の増加と定修規模差から LD、HD、PP、PS の4樹脂で二桁台の大幅なプラスとなった。

前年比では、HD、PP、PS では定修規模差や稼働率要因からプラス、LD は定修規模差等からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、前月が比較的好調な出荷であった。これに対し当月は PP、PS でマイナスとなったが、LD、HD はほぼ前月並みの出荷となった。

前年比では、PE では為替等の要因から輸入品の減少が続いていることを受け、主要な出荷分野であるフィルム向けの出荷が増加しプラス。PP では射出成形、押出成形分野等の出荷が増加しプラスとなった。PS は、FS 分野の出荷が減少したこともありマイナスとなった。

ハ) 輸出

円安等の取引上の条件は引き続き整っており、前月比では HD、PS でプラス。前年比では前月マイナスであった LD が当月はプラスとなったほか、HD、PP、PS ではプラスが継続している。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP で減少した。在庫率(季節調整済)では LD は前月に対して低下、HD、PP、PS は僅かながら上昇した。在庫水準としては、LD はやや高め、HD、PP、PS はほぼ適正な水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		6月末	7月末
LD	▲5,900	2.9	2.8
HD	▲3,300	2.3	2.4
PP	▲600	2.3	2.5
PS	+8,500	0.8	1.0

以上